

細胞性牛肉の社会実装に係る研究開発

The Social Implementation of Cultivated Beef

藤森工業(株)(ZACROS)・(株)島津製作所・TOPPANホールディングス(株)

研究開発の概要 Research Highlights

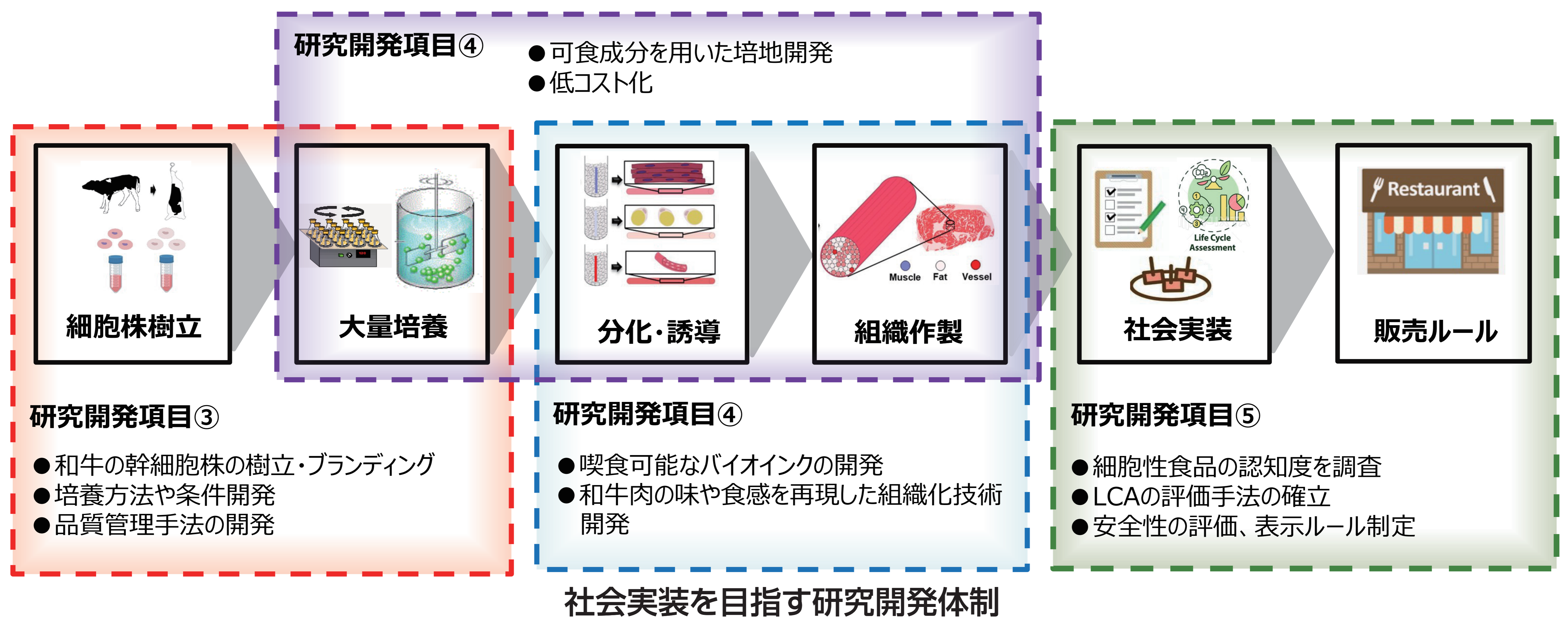
◆ 背景

天候不順やパンデミック、戦争といった地政学的リスク、さらには今後も世界の人口が増加する傾向や各国の経済的成熟による食文化の変化が予想されています。その中で、タンパク質の供給元として、いわゆる家畜由来の肉の代わりとなる様々な食の選択肢が広がっています。



◆ 研究開発概要

本事業では、これまで培ってきた知見や技術を結集し、細胞性牛肉(いわゆる培養肉)の世界初となる社会実装に向けた研究開発を行います。培養肉の原料となる細胞を安定供給する大量培養技術、喫食可能な細胞培養用の培地、喫食可能な細胞以外のバイオマテリアルとともに、培養肉を社会実装するための評価手法も開発します。



◆ その他、参画組織

大阪大学、東京大学、東京女子医科大学、東京農業大学、細胞農業研究機構(JACA)

希望するビジネスマッチング Matching Requests

培養肉の販売ルートを含むサプライチェーンの拡充(細胞・培地・バイオマテリアルの提供、細胞性食品の製造、販路)

◆ 研究開発成果の応用先

牛以外の食用細胞、細胞もしくはその培養・足場を用いた医療・医薬製造
LCMSデータを用いた培養最適化によるカスタム培地製造

■ オンラインコンテンツ



詳しい情報はこちら
 →<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7917/tdnet/2346830/00.pdf>
 →https://www.shimadzu.co.jp/news/2023/cod3dgdccjm6r9_i.html
 →https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2023/10/newsrelease231019_3.html

お問い合わせ先

藤森工業株式会社 社長室 ブランディング推進グループ
 URL : <https://www.zacros.co.jp/contact/>

NEDOプロジェクト名

バイオものづくり革命推進事業